

**衆議院議員**  
**かつまた孝明の**  
**地方創生継続中!**

かっちゃん  
**40歳**

子育て、責任世代の代表として!  
**医療 福祉 教育**

衆議院財務金融委員会で麻生大臣へ質問するかつまた孝明

今国会の質問に際し、財務金融委員会に付託された審議内容について、元金融マンの経験を活かし、麻生大臣に対し質問をしました。具体的な質問内容は  
①特例公債の発行期間5年間の根拠について ②財政健全化に向けた道筋について  
③経済再生に向け、個人金融資産 1,700兆円を消費行動に向かわせるための低金利政策について ④東日本大震災の復興財源確保について ⑤地元伊豆半島の外国人旅行者向けの消費税免税制度の拡充について、など多岐にわたりました。

**勝 通信**

—春・夏号—

自由民主党静岡県  
第6選挙区支部

**お問い合わせ**

自民党静岡県第6選挙区支部  
かつまた孝明後援会

〒410-0062  
沼津市宮前町13-3  
電話 055-922-5526  
FAX 055-922-5527  
URL <http://www.t-katsumata.com>  
ブログ <http://ameblo.jp/t-katsumata/>  
E-mail [jimin@t-katsumata.com](mailto:jimin@t-katsumata.com)

**富士箱根伊豆 国立公園は80周年**

〈記念式典が催され、地元を代表して挨拶〉

1936年(昭和11年)に国立公園として認定を受け今年が80周年の節目を迎えました。

かつまた孝明が地元を代表して挨拶に立ちました。

国立公園の指定を受け、長年にわたり素晴らしい自然環境の保全を保ってきました。

一方、富士山の世界文化遺産認定や伊豆半島ジオパークまた我が国屈指の温泉といった当公園内の魅力を活用していかなければなりません。

平成28年度予算においてユニバーサルデザインプロジェクトに3400万円を確保しました。

今後は保全と利活用の両輪で更に多くの観光客を内外から迎え入れて参ります。

**機能性食品の拠点施設として県が利用**

**東海大学の跡地(4号館) 利活用決まる!**

沼津市西野の東海大開発工学部跡地に注目が集まっていますが、慶応大学と理化学研究所の共同研究施設に決定いたしました。

この先端研究施設は、疾病予防と健康増進に効果のある食品機能性の研究を医薬品との連携によって推進するもので、医療費高騰を抑止するため、病気を「治す」から病気に「ならないようにする」(予防医療)の必要があるという発想に基づく研究を進めるものです。

ファルマバレー(富士山麓先進健康産業集積プロジェクト)計画が沼津市西部まで拡大し、今春開

通した東名高速愛鷹のSICや16年度末までにSICの供用開始予定である新東名駿河湾沼津SAにも近く、物づくり産業の更なる活性化が期待できます。

▲東海大沼津校の旧校舎4号館

▲記念式典で挨拶するかつまた孝明

**Sea級グルメ**  
**全国大会沼津開催**  
**誘致に向けて**

沼津港は県内初となる「みなとオアシス」に認定され、町のにぎわい拠点や外国のクルーズ船旅客にサービスを提供する場としても活用が期待されています。本年1月に沼津市において開催された「みなとオアシス会議」において、かつまた孝明が提案したSea級グルメ全国大会の沼津開催誘致を受け、国土交通省港湾局の関係者の皆様から沼津港で視察を行いました。沼津港の新しいビジョンも描かれ、平成28年度予算として地方創生港整備推進交付金1700万円を確保致しました。

今後、国・県・市が一体となり、みなとオアシス沼津港の発展やSea級グルメ全国大会沼津開催の実現に向けて努めて参ります。

**伊豆へ期待の表れ**  
一億六千万円を確保  
**伊豆半島**  
**客船誘致委員会の**  
**設立に向けて**

今後我が国における多くのクルーズ船の来港が期待される中、伊豆半島市町が一体となって誘致活動を行っていかねばなりません。そのため、先例である清水港に伊豆半島市町関係者の皆様と研修視察に伺いました。今後は「伊豆半島客船誘致委員会」を立ち上げ、日本版DMO「美しい伊豆創造センター」を中心に誘致活動をしていきます。そのための広域観光地域づくり事業に対して、地方創生加速化交付金1億6000万円の予算を確保することが出来ました。県内選出衆議院議員で唯一の地方創生に関する特別委員として地方創生の実現を図って参ります。

▲国交省担当者と沼津港の視察

▲清水港の研修会で挨拶をする

**～来た～!!平成の黒船～**  
**豪華クルーズ船が伊豆半島初入港**

日米和親条約による開国の地、下田港へフランス船籍の豪華クルーズ船「ル・ソレアル」(1万944トン)が4月4日初入港し、かつまた孝明が目指す伊豆半島へのクルーズ船誘致活動への第一歩となりました。

1856年初代米国駐日大使となったハリスが来航以来の出来事であり、開国の地として盛大に歓迎を致しました。私も「クルーズ船観光振興議員連盟」に所属する中で、事業を積極推進してきました。国土交通省においても、我が国における外国人観光客誘致目標2000万人を目指す中で、クルーズ船による、外国人観光客誘致を(目標:2020年までに400万人を積極的に推進しています。)

こうした中で、今回の地元伊豆半島(下田港)におけるクルーズ船の来港は大変に意義深いものであります。

この豪華クルーズ船ル・ソレアル号は、コンピュータ制御で船は揺れない構造であり、船内にはスポーツジムや温水プール、劇場といった充実した設備、更にはワインやフランス料理を堪能出来る豪華レストランが2か所あり、その建造費は300億円あります。この姉妹船が来年以降日本に就航し、再び下田港に寄港するチャンスが生まれる期待が高まっています。

クルーズ船が大型化する中でこのような富裕層が利用する中型の豪華客船を伊豆半島にある各港で誘致する組織(伊豆半島客船誘致委員会)の立ち上げに向けて支援して参ります。

ル・ソレアル号で訪れた旅客はバスで、浄蓮の滝方面へ向かい、わさび田や滝を見学し、伊東の大室山リフトで、山頂を目指すなど伊豆半島ジオパーク観光を堪能しました。

今後伊豆半島市町が一体となり、港からの外国人観光客誘致に向けて全力で取り組んで参ります。

▲船長へ下田産熟成ワインを手渡す

▲豪華クルーズ船のデッキにて

▲下田港へ初入港したル・ソレアル号

**かつまた孝明**

昭和51年4月7日生まれ(40歳)

出身 沼津市  
住所 沼津市花園町  
家族 父親(沼津市出身)  
母親(伊豆市出身:修善寺)  
妻・長男・長女・次男

**学歴**

しょうえい幼稚園 卒園  
沼津市立門池小学校 卒業  
沼津市立門池中学校 卒業  
静岡県立沼津東高校 卒業  
学習院大学経済学部 卒業  
慶應義塾大学大学院経営管理研究科 卒業  
経営学修士: MBA取得

**職歴**

平成12年4月 スルガ銀行株式会社 入社  
平成24年12月～ 衆議院議員 1期目  
平成26年12月～ 衆議院議員 2期目  
経済産業委員  
財務金融委員  
地方創生に関する特別委員  
自民党ITS道路調査会・幹事  
統合医療推進連・政策委員

### 新年度予算と95の議員連盟・勉強会を特集

景気の下支えを主目的にテフレ脱却・経済再生を打ち出した96兆7218億円の平成28年度予算が成立しました。

地元地域に、新規事業で注目された今年初の地方創生交付金について、全国から三千を超える提案内容があった中で、交付額として8番目に大きな金額である1億6千万円が『美しい伊豆創造センター』運営事業へ交付されるなど、多くの地元要望に對し予算を確保することができました。

こうした成果は国会内の議連や各種の勉強会に所属して地元の皆様の要望を受け止め実現に向けて行動してきた結果でございます。

### 最先端の医療機器や次世代研究施設の視察が続く ファルマバレーセンターから世界に発信

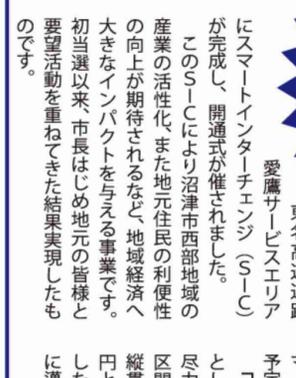
医療分野で最先端を行く産学共同研究を実施している慶応病院で、脳波からの信号で手足が動くシステム研究など最先端医療機器の研究現場を視察しました。

また、県立がんセンターを中心としたファルマバレーの拠点施設となる県立長泉高校跡地に今秋本格稼働するファルマバレーセンターを視察しました。

当センターでは日本を代表する医療機器メーカーであるテルモ、富士フィルム、また地元企業の深澤電工、東海部品工業といった多くの企業の参入が決まっております。



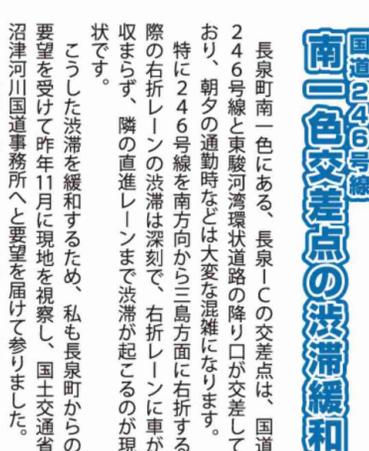
▲ファルマバレーセンターの拠点施設を視察



▲慶応病院を視察



▲しいたけ等振興議員連盟へ所属



▲自由民主党お祭り議員連盟へ所属

入院患者が安心安全快適に治療を受けることと出来る病院を支援していくことを目的とした「有床診療所の活性化を目指す議員連盟」で活動しています。

平成28年度予算につきましては老朽化した医療施設を改善するための資金やスプリングラー設置へ向けた取り組みに対する補助制度などの予算を確保しました。

今後とも健康長寿社会の実現に向けて、快適な医療環境の提供に努めて参ります。

長泉町南一色にある、長泉町の交差点は、国道246号線と東駿河湾環状道路の降り口が交差しており、朝夕の通勤時などは大変な混雑になります。特に246号線を南方向から三島方面に右折する際の右折レーンの渋滞は深刻で、右折レーンに車が収まらず、隣の直進レーンまで渋滞が起るのが現状です。

こうした渋滞を緩和するため、私も長泉町からの要望を受けて昨年11月に現地を視察し、国土交通省沼津河川国道事務所へ要望を届けて参りました。

この渋滞を緩和するには、新たに車道のレーンを増設するか、信号機の設定を変えて、右折の時間を多くするようにするといった方法が取られます。現在国では、一日の交通量を計測し、信号機の適切な右折表示時間を算出していきます。

今回の平成28年度予算にて2億1000万円予算が実現致しました。今後交差点の改良にむけての工事に着手していく予定です。いずれにしても、一刻も早く渋滞が緩和されるように、今後とも努力を続けて参ります。



▲伊豆の国市葦山の道路改良予定地を視察

### 沼津市への効果絶大

平成28年3月19日に東名高速道路愛鷹サービスエリアにスマートインターチェンジ(SIC)が完成し、開通式が催されました。

このSICにより沼津市西部地域の産業の活性化、また地元住民の利便性の向上が期待されるなど、地域経済へ大きなインパクトを与える事業です。

初当選以来、市長はじめ地元の皆様と要望活動を重ねてきた結果実現したものです。

また、今年度中にも新東名高速道路駿河湾沼津サービスエリアにスマートインターチェンジが供用開始予定です。

「自民党ITS道路調査会」の幹事として、また地元衆議院議員として尽力してきた東駿河湾環状道路西區間(沼津岡宮ICから原と伊豆縦貫道の予算をそれぞれ500万円と69億円確保することが出来ました。今後とも、地域インフラ整備に邁進して参ります。



▲開通式へ臨んだかつまた孝明

### 長泉町の子育て事業へ地方創生交付金

長泉町と裾野市が共同で実施する「みんな子育てするまち推進事業」に900万円の地方創生交付金が確保出来ました。

安倍政権の掲げる新成長戦略の一つである合計特殊出生率1.80を超える県内同率1位(1.82)だったものをさらに2.07に底上げする目標を掲げており、産婦人科医によるシンポジウム「女医が本場に必要だ」という出産・子育てサポートの開催や男性の育児参加を促す「イクメン」五段活用でまちを変える」と題した講演会も開催していく予定です。

東京一極集中の是正と人口減少の歯止めを目指す、自治体活性化支援策が認められました。



▲大会会長として親子レースへ参加

### 日本の保育園は元気で待機児童0人への挑戦

3人の子供を育てている私としても、待機児童問題は他人事ではありません。

平成22年に2万6725人いた待機児童が昨年度は2万1371人まで減少しましたが、今年に入り、安倍政権の掲げる一億総活躍社会の浸透により、待機児童が増加傾向にあります。子供は「社会の宝」と言われてきましたが、公園などに行かず自宅内で子育てをする傾向が増えており、ストレスが溜まる母親のサポート体制(地域による子育て支援)も重要と考えます。私は「全国保育園関係議員連盟」に所属しており、保育園を

つぶさに視察した経験から、3歳児童20人に1人の保育士配置の制度改正の必要性(保育士の処遇改善)を強く感じており、今後とも改善に向けた取り組みを現場主義で行って参ります。

\*静岡県内の待機児童は26年度より213人増えて27年度は780人と過去最多となっております。



▲子育てサークルへ参加

### 子供たちの未来へ！

### 小中学校の施設充実を実現！

私は「学校耐震化・施設整備等議員連盟」に所属しておりますが、静岡県は耐震化がすでに終わっているため、耐震化以外の予算が大変逼迫しているのが現状です。こうした中地元からの要請により、高市総務大臣と義家文科科学副大臣のもとを訪ね、予算要望をいたしました。

結果は平成27年度補正予算にて以下の交付金支給を実現しました。

平成27年度補正及び平成28年度「学校施設環境改善交付金」内定状況の一例

設置者名	内定額(千円)	学校名	事業名
伊東市	15,148	八幡野、北小学校	大規模改造(トイレ)
下田市	21,241	下田、朝日、稲生沢、浜崎小、稲穂小、中学校	防災機能強化
伊豆市	57,853	土肥中学校	大規模改造(トイレ・廊下)

### 通学路の安全確保を実現

モーターゼーション社会において、新しい道路の開通や、町の再開発が進むことにより、自動車の流れが一変し、長年安全を確保されていた通学路等の見直しが必要となってきます。

こうした中私は、毎年子供たちに通学路の安全を確保していくための「通学路緊急点検プログラム」を推進して参りました。今年度静岡県内全体で、約31億円の「通学路の緊急合同点検結果等」に基づく交通安全施設整備予算を確保することができました。

地元においては狭いながらも街道沿いの通学路における横断歩道の危険箇所改善(安全帯の確保)をするなど、多くの通学路危険箇所を改善致しました。

今後ともふるさとを担う子供たちが安全に通学出来るように現場の声を大切に、命のための予算確保を図って参ります。



▲改修後の通学路

▲危険な通学路

### 自民党国際局長として友好親善外交へ一役

1854年にロシアの旗艦「ディアナ号」が安政東海地震の津波により大破し、乗組員を戸田の村民が助けたことにより交流が続いており、この度NPO戸田日露交流協会が設立されました。駐日ロシア大使ご夫妻をお招きし、日露のさらなる友好を誓いました。

沼津市で開催された「アルプ・アルペ写真展」へ駐日トルコ大使ご夫妻が、城内実前外務副大臣と一緒に会場へお出向くださいました。かつまた孝明が地元を代表して出迎えました。

今後自民党国際局長の立場の重みと共に、両国の更なる友好親善に努めて参ります。



▲写真展でのテーブルカット

▲設立総会で来賓挨拶

### 駐日ロシア大使ご夫妻をお迎え

### 駐日トルコ大使ご夫妻をお迎え

### 生活に直結する農業農村整備事業予算確保 土地改良により生産力・防災力向上を実現

「自民党農村整備議員連盟」の一員として、土地改良事業による農業の振興や防災力を高めるための活動をして参ります。地元においてはみかん産地である沼津市西蒲地区における急傾斜地対策において「農業競争力強化整備事業」予算を5億4000万円確保することが出来ました。これにより、西蒲みかんの更なる生産力の向上や防災力の向上を図ることが期待されます。

また、伊豆の国市の田園地帯に伸びる約3キロの直線道路は、農産物の運搬だけではなく、世界遺産の放射炉と函南方面を結ぶ利便な道であります。しかし交通量が多く、センターラインも無いため、事故も多岐にわたります。

拡幅を望む声が、以前からありました。そのため、地元住民及び生産者の皆様の強い要望を受け、道路脇の用水路を移設、道路幅を広げるための新規事業化を実現致しました。さらに、前政権時、予算減額により滞っていた東伊豆町の農免道路につきましても、事業が再開する運びとなりました。本年度は本県農業農村整備事業関係予算も前年度比38パーセント増の約84億円を確保することが出来、(本県土改連会会長長山盛雄議員)今後とも、県、市町と連携して農村基盤の整備に取り組みして参ります。



▲伊豆の国市葦山の道路改良予定地を視察

### 命の源柿田川湧水の保全 泉水源地送水管理センターオープン

世界遺産富士山を水源とする柿田川の泉水源地送水管理センターは、沼津市水道事業の最重要施設ですが、運用から30年が経過し老朽化が著しく、建築物は耐震基準を満たしていない等の問題を抱えていました。

本年3月に新送水管理センターがオープンし(事業費20億円)住民の皆様が安心して安全な水道水の安定供給にこれからも取り組んでいくと共に、東洋一の湧水(柿田川)を守っていきます。



▲美味しい湧水を戴く

誰もが自衛に迫られることのない社会の構築  
自衛対策とマンツールの推進

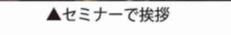
私は「自衛対策を推進する議員の会」において、マンツールの重点を置いた活動を展開しております。

平成28年度予算につきましては、自衛対策予算として29億7000万円を確保することが出来ました。

また、自衛対策における所管官庁である厚労省自衛対策推進室を創設し、一本化する事で、企業におけるストレスチェック制度の義務化等、集中的かつ切れ目のない自衛対策を行うことが出来ます。

地元においては、沼津市で毎年「職場のメンタルヘルスケアセミナー」を開催し、自衛対策の啓発活動を行っております。

今後、誰もが自衛に追い込まれることのない社会の実現を目指し、全力を尽くして参ります。



▲セミナーで挨拶